



昭和小学 第13号

校長室便り
文責
生田 文明

「きずな」特集号

親子の絆、家族の絆、地域の絆、人にとって絆は、とても大切なものです。「親守詩」「敬老の日の作文」を掲載します。

絆について、思いやり、感謝する心について、各家庭で、地域で話題にしていただければ幸いです。

親守詩 (おやもりうた)

一学期末に募集しました親守詩。たくさんのお応募ありがとうございました。県での審査の結果、左記の五作品が見事入選し、十月十五日に熊本県庁で表彰式があります。入賞作品のお知らせが、表彰式前にありますので、ここで紹介させていただきます。なお、応募された全作品については、来週学校に掲示させていただきます。



○ 行ってきます 毎日とおい この道を
小さな背中 母もがんばる
一年 山田 かける

○ お母さん なんでそんなに えがおなの
笑顔でいると 幸せくるよ
二年 井上 うき

○ たまにはね ぼくのとなりで ひと休み
笑顔と優しさ 元気をくれる
四年 河瀬 樟大

○ お母さん いつもおうえん うれしいな
努力はきつと 無駄にはならぬ
五年 山田 雫



○ お母さんと 釣りに行くのが 楽しいな
釣りに行くのは 親子の絆
六年 坂田 賢聖

敬老の日 作文

だいすきなじいちゃんばあちゃん

一ねん やまだ かける

ぼくのじいちゃんは、じゅーすや おかしを じてんしゃのかごにのせて、ぼくを ていぼうまで おさるぼに つれて 行ってくれます。

ぼくの じいちゃんは さかなつりにも つれて行って くれます。じいちゃんと さかなつりにいくと たのしいです。えさを じいちゃんがつけて、じいちゃんがんばります。ぼくは、さかなは さわれません。じいちゃんが、はりをはずします。しっぱいしたら、てに ささりそうです。

じいちゃんは、はいすい ほんぶじょうの おしごとにいけます。たくさん あめが ふると、あさは やくても、よなかでも、はいすい ほんぶじょうにいえます。がんばっているなあ と おもいます。しよわが、みずに つからないように まもっています。いそがしそうに しています。でも つかれたといません。とても がんばりやの じまんの じいちゃんばあちゃん「がまだしもん」です。

ばあちゃんばあちゃん、ぼくが のみものを のみたくてもとどかないときに、とってくれます。やさしい ばあちゃんです。

こんなじいちゃんばあちゃんがいすきです。これからも、じいちゃんや ばあちゃんとなかよくしたいです。かたもみをしてあげたいです。



だいすきなじいちゃんばあちゃん

一ねん せんぼ りゆうのすけ

ぼくには、おじいちゃんが ふたり、おばあちゃんがふたりいます。しよわの おじいちゃんは、ごるふとてにすが とくいです。にわで、ぼくに てにすを おしえて くれます。「ぼーるを しっかり みてね」と あどばいすを してくれれます。ぼくは ぼーるをみて しっかりうてるようになりました。きやつちぼーるも してくれれます。

しよわの ばあちゃんは、しゆくだいや、べんきょうをするときに ついていてくれます。となりで せんたくものを たたみながら、ぼくがまちがったら、「よくよんでね」といいます。

たかまつのじいちゃんは、ぶどうや、なしや うどんをおくってくれます。うどんは、ひやして つゆにつけてたべると、おいしいです。おぼんには、たかまつで かわあそびに いきました。うきわをつけて、ながれに きをつけて あそびました。

たかまつのおばあちゃんは、くさとりを がんばっています。なつは、あせびつしよりで かえってきます。いぬのどりのさんぽにもいっしょにいってくれます。ばあちゃんのおんやたまごやきが おいしいです。かたもみをしてあげたいです。

ぼくは、四にんの じいちゃんばあちゃんが だいすきです。これからは、さっかーも いっしょにやりやります。みんなでりよこうにもいきたいと思います。

